

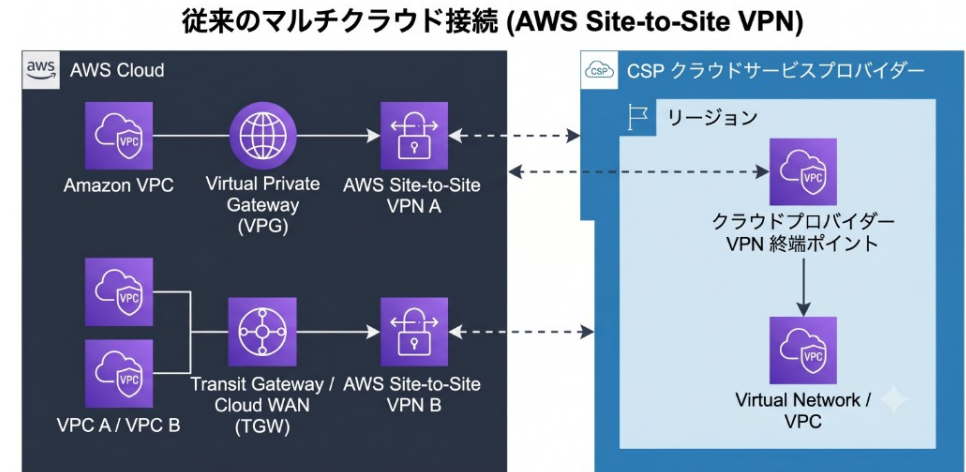
AWS Interconnect multcloud

Summit参加レポートー マルチクラウド接続はこう変わる

従来構成－5つの課題

VPN / コロケーション / パートナーBB 等、自前で組み合わせが必要

1. スケーラビリティ－拡張が難しい
2. 管理オーバーヘッド－AWS・CSP・パートナーを個別に管理
3. 障害ポイントの増加－構成要素が多い
4. トラブルシューティング－原因切り分けが複雑
5. グローバルカバレッジの一貫性－リージョンごとにはばらつき



従来 vs Interconnect — 何が変わるか

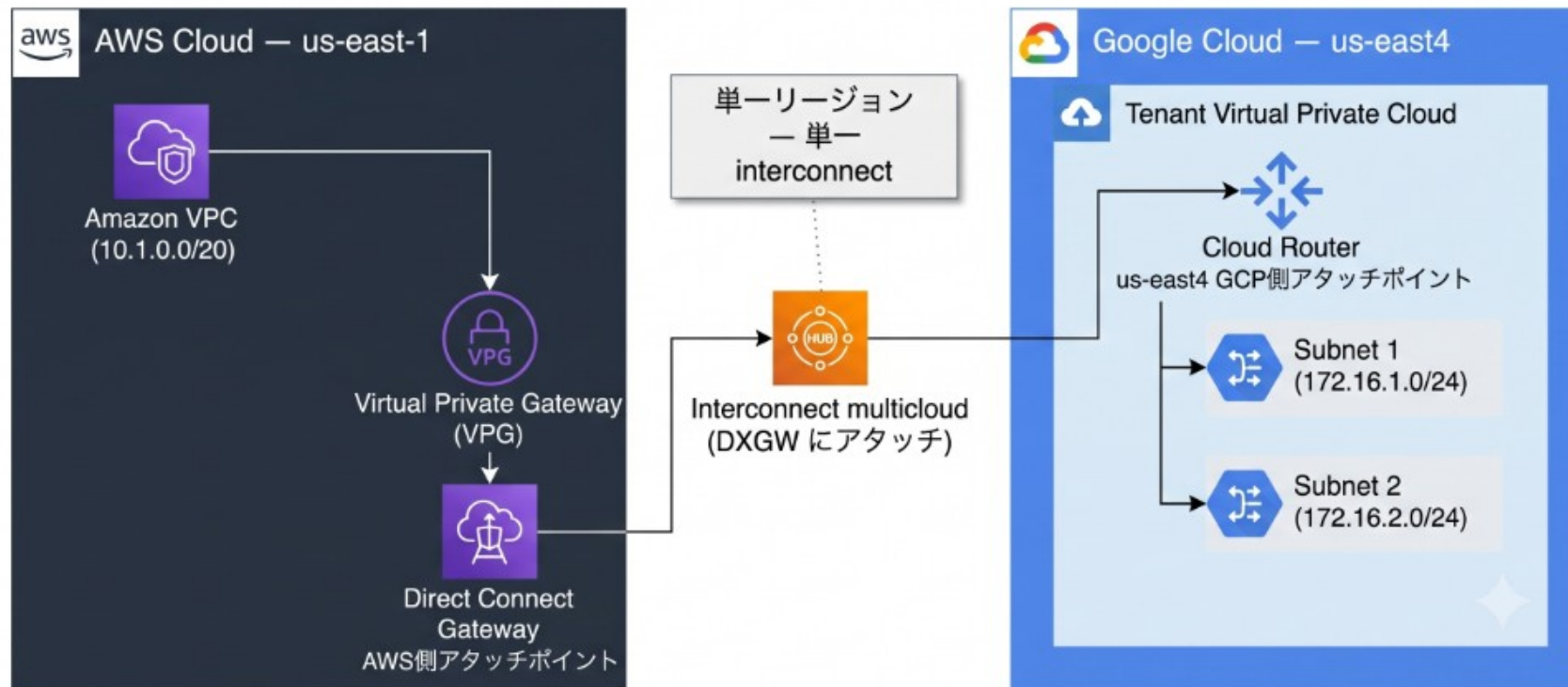
	従来のマルチクラウド接続	AWS Interconnect multcloud
接続	VPN（公開IP） / コロケーション / パートナーBB	AWS Interconnect multcloud（マネージド接続）
構成	AWS + CSP + パートナーを自前で組合せ	DXGW にアタッチするだけ
設定	BGP / VLAN / MACsec を顧客が管理	設定不要
デバイス	カスタマールーター・ケーブルリング管理	不要
ルート	個別設計・運用	動的ルート伝播
暗号化	自前対応	MACsec 標準装備

Interconnect 構成 — 単一VPC

単一リージョン — 単一 interconnect

AWS Interconnect multcloud アーキテクチャリファレンス

パターン: 単一リージョン — 単一 interconnect

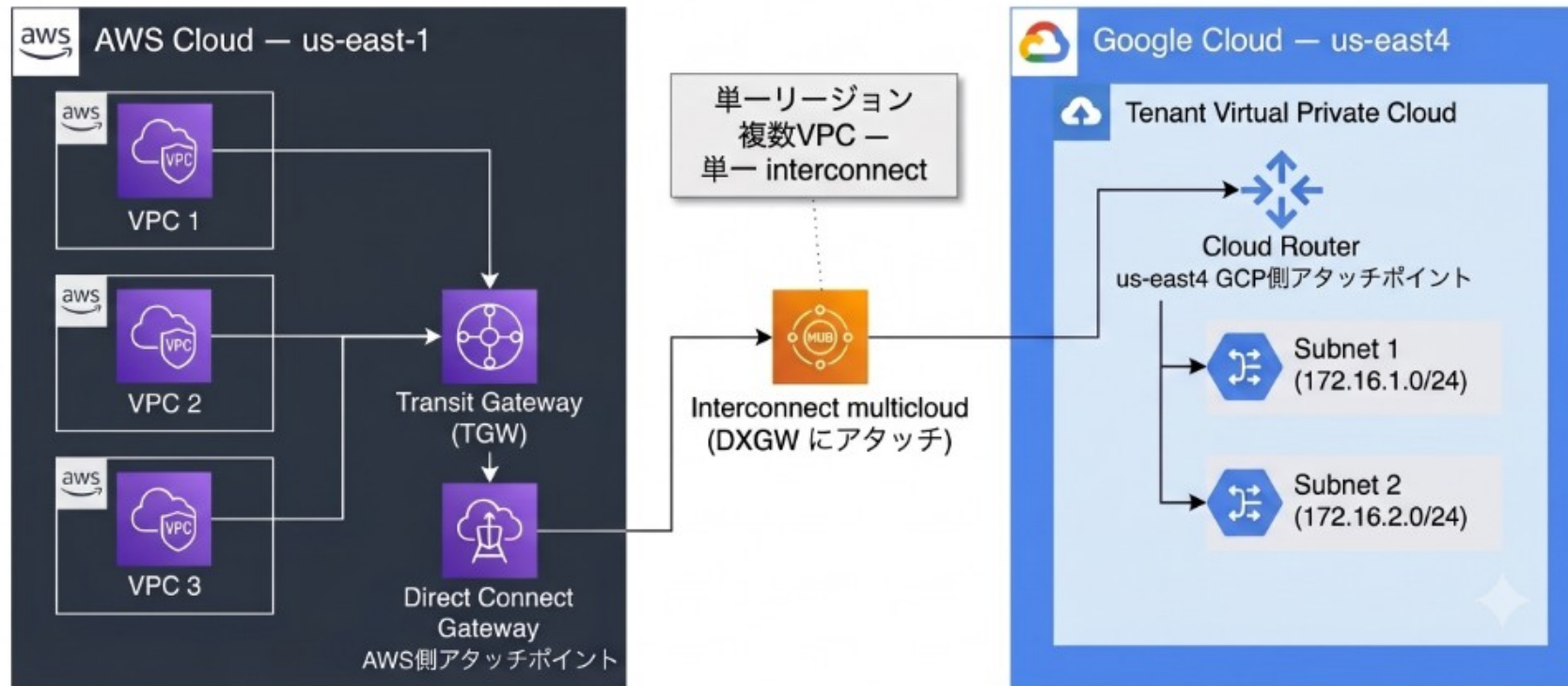


Interconnect 構成 — 複数VPC

単一リージョン 複数VPC — 単一 interconnect

AWS Interconnect multicloud アーキテクチャリファレンス

パターン: 単一リージョン 複数VPC (AWS) — 単一 interconnect

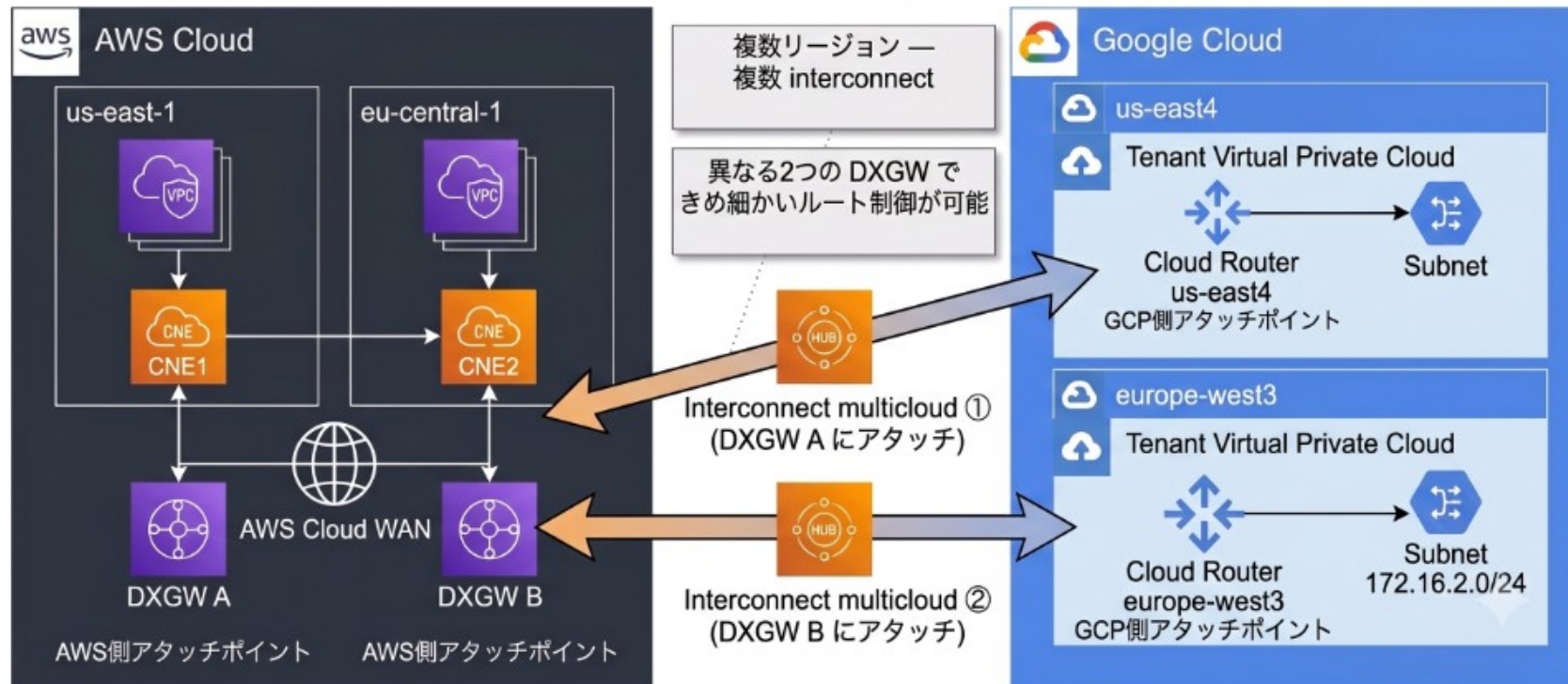


Interconnect 構成 — 複数リージョン

複数リージョン — 複数 interconnect

AWS Interconnect multicloud アーキテクチャリファレンス

パターン: 複数リージョン — 複数 interconnect



今後の展望・見解

GA・ロードマップ（AWS 公式）

項目	内容
Google Cloud	GA 開始（2026年4月）－現時点で利用可能
Microsoft Azure	2026年後半予定
Oracle Cloud（OCI）	Preview（2026年5月～）－us-east-1
500Mbps 無料枠	2026年5月～（リージョン×CSP あたり1本）

所感

- **運用負荷:** BGP/VLAN/MACsec の自前設計・切り分けから **DXGW へのアタッチ**へーマルチクラウド接続の**運用負荷が大きく下がる**方向性
- **今後:** マルチクラウド活用の機会は増えていく－GCP GA・Azure/OCI 予定・無料枠もあり、**実際に使う場面も増えそう**